



楽しく学んだ 矢祭子ども司書講座

活動を終えて・・・「矢祭子ども司書」第4期生 10名



子ども司書講座を受講して

内川小学校6年

矢祭子ども司書講座では、図書の貸出・返却の講座や、本のカバーかけなど楽しく学べた講座がたくさんありました。

その中でも一番楽しく学べた講座があります。それは図書館実習です。図書館実習では、返却されてきた本をもとの場所にもどしたり、本をみがいたりする内容の講座でした。本の返却は、もとの場所にもどす本の量が多く、返す本棚を探すことが大変でした。また、本をみがくことも、よごれがひどいところがあったので大変でした。手に力を入れて本をみがかなくてはいけなかったため、みがき終わった時は手がとても痛くなってしまいました。このことから、司書の人達はとても大変な仕事をしていることが分かりました。

私は、子ども司書講座を受け、本のことや司書の仕事がよく分かりました。これからも感謝の心で図書館を利用したいです。



子ども司書の思い出

内川小学校4年

私は、子ども司書こうざを受こうして、思い出に残っていることが二つあります。

一つ目はジュニア俳句スクールです。俳句を作るのはむずかしいと思っていましたが、実際に野原の景色を見たり、先生がやさしく教えてくれたりしたので、いつの間にか俳句を作る事ができました。

二つ目は飛び出すカード作りです。私は不器用なので上手に作れるか心配でしたが、香川先生に「こういう風にやるんだよ」と教えてもらったおかげで、私も飛び出すカードを完成しました。

どのこうざも初めての体験だったので心配でしたが、先生やスタッフのみなさんのおかげで、楽しく受講できました。そして、本についてたくさんを学びました。この子ども司書講座で学んだことをいかして、これからも本をたくさん読みたいと思います。

一年間の子ども司書

東館小学校5年

私が一年間の子ども司書講座の中で思い出に残ったことは、四つあります。

一つ目は、手づくり絵本講座でとびだす絵本を作ったことです。理由は一さつの本ができあがってページをめくるたびに飛び出ることがおもしろかったからです。

二つ目は、本のカバーかけです。なぜかという空気を入れないようにカバーをかけるのがむずかしかったからです。けれども、本のはしまでしっかりとカバーをかけることができた時にうれしくなりました。

三つ目はパソコン講座です。最初はキーを見ないで打つことができなかったけれど、だんだん上手に打てるようになっていったことが楽しかったからです。

四つ目は研修旅行です。なぜかという県立図書館のしょこにたくさんの本がおいてあり、昔の新聞などが今でもおいてあるのにびっくりしたからです。

私にとって、この子ども司書の一年間は、少しむずかしかったけれども色々なことを学ぶことができ、楽しかったです。最初はかんたんと思っていたけれど、実際にやってみたら返きゃくされた本を本だにもどすのが以外とむずかしかったです。

これからは、図書館のカウンターでの貸し出しや返きゃくの仕事などを手伝いたいです。

子ども司書講座で嬉しかったこと

東館小学校5年

私が講座で嬉しかったことは、三つあります。

一つ目は研修旅行です。友だちといっしょにバスの一番後ろにすわって、しゃべったりおやつを食べました。絵本ワールドでは、着ぐるみにいたずらをして遊びました。とても楽しかったので、もし機会があったらまた行ってみたいです。

次に嬉しかったことは、ジュニア俳句スクールで戸津辺にひがん花を見に行ったことです。その時はひがん花があまり咲いていない上に、雨がふっていて残念でしたが、丘の上から見た田んぼと線路の風景が心に残り、とても嬉しかったです。

そして三つ目は、他の小学校の子と仲よくなれたことです。最初のころは、恥ずかしくてなかなか話しかけられなくて、同じ小学校の子としか話しませんでした。でも今では、時々だけど、他の小学校の子ともしゃべることができるようになって、とても嬉しいです。

これからは、立派な子ども司書として、読書をするこの楽しさをみんなに伝えたいです。



子ども司書講座をふり返って

東館小学校4年

わたしが子ども司書講座にはいったきっかけは、友だちにさそわれたからです。

講座の中で一番楽しかったことは、図書館の本のひみつと本のカバーかけの講座です。

図書館の本のひみつの講座では、いろいろなことがくわしく分かりました。本についている背ラベルは、青いシールが大人向けの本で、オレンジ色は子ども向けの本です。

次に、本のカバーかけでは、まず見本を見てからやりました。本にすき間が入らないようにカバーをかけるのがちょっと大変でしたが、楽しかったです。やっているうちにピカピカになり、上手にできあがって自分でもうれしくなりました。

特に大変だったことは、子ども司書講座最後の図書館実習です。いままでやってきたことを思いだして取り組みました。実習の中で苦労したのは、新しく入った本にはんをおす仕事です。本がいっぱいあったので、おすのがとても大変でした。

わたしの中では、つらいこともあったし、みんなと力を合わせてやったこともあったし、楽しかったこともありました。子ども司書講座で学んだことをいかして、これからも図書館を利用して本を借りてたくさん読みたいです

子ども司書講座をふりかえって

東館小学校4年

私が子ども司書講座で一番楽しかった事は、研しゅう旅行へ行った事です。本には色々なしゅ類があり、そのしゅ類ごとに本が分けられている事が分かりました。私は今まで本を借りていただけだったのですが、この子ども司書講座に入って、図書館の仕事が大変なのだと言う事が分かりました。本がよごれていたらそれをきれいにし、カバーをして、分類ごとにシールをはり、それをならべる事。かんたんなようですが、この本が何万冊もあったら大変です。

私は、いままでやってきた本のカバーかけやとびだす絵本作り、司書の仕事⑤やってみよう読み語り、手づくり絵本コンクールで本を読んだことは、これから学校の図書委員会のおてほんにするので、やった事はわすれません。

これからは、子ども司書講座で学んだ事をみんなに教えてあげたいと思います。一年間、指どうしてくれた図書館の方、そして公民館の方、ありがとうございました。

楽しかった子ども司書

石井小学校4年

私が子ども司書講座で楽しかったことは、けん習旅行に行ったことです。子ども司書のメンバーと子ども司書講座をけいけんしたことのある人達とバスで郡山に行きました。最初は、福島県立図書館で本を見たり、図書館の中を案内してもらいました。ビッグバレット福島には本がたくさんあったので、このき会に本が買えるなら買おうと思い、私は2さつ本を買いました。みんなと楽しくできてよかったです。

私は子ども司書講座をやってみて、前よりもっと本が好きになりました。これからも本をいっぱい読んでもっともっと好きになりたいです。

子ども司書こう座に参加して

石井小学校4年

今年、初めて子ども司書こう座に参加しました。私は、前からお母さんといっしょに図書館に行っていたので、貸し出しや返きゃくの仕事をしてみたいと思っていました。でも、子ども司書ではもっと楽しいことをたくさん勉強することができました。

私が、一番思い出にのこっているのは、手づくり絵本コンクールの最ゆうしゅうしょうに選ばれた本をろう読したことです。とつてもきんちょうして、上手にできるか心配でした。特に長いお手紙の部分だったのでよけいにきんちょうしました。でも、終わったあと、作者の木村ひとみさんに

「気持ちがかもっていてすごく上手だったよ。」

と言われてとてもうれしくなりました。

子ども司書こう座に参加して、いままでよりもたくさんの本に出会うことができました。これからもたくさん本を読みたいです。

みんな仲良く楽しくできた

石井小学校4年

私は、子ども司書講座を受けて一番の思い出があります。それはけんしゅう旅行のことです。子ども司書の先ばいの人たちと行ったので、とつても楽しくけんしゅう旅行ができました。福島県立図書館ではたくさんの本を見てきました。絵本ワールドでも本を選んで買うことができ、心に残るけんしゅう旅行になりました。

来年は私が先ばいになるので、またけんしゅう旅行に行く時は、私が先ばいとして、次の子ども司書の人たちのめんどろを見てあげたいと思いました。

矢祭子ども司書講座から学んだこと

東館小学校4年

私は、子ども司書講座を受けてきた中で、ふつうでは体けんできない事をいっぱい体けんできました。その中でもおもしろかったことは、カウンターで「ピッ」とやるお仕事です。

日常生活で役に立つようなこともありました。たとえば本の探し方です。本の角の方につけるシールは、しゅるいごとつけてあって、本が探しやすくなっているのので、自分の本にも目印をつけたら役にたつなあと思いました。

しんちょうにやる講座もありました。新しい本にカバーをかける仕事です。手順がきびしくて、最初はむずかしいと思いましたが、1冊かけて上手にできたらおもしろくてなって、「ハイ、次！！」と思いつながら次の本をかけました。やりはじめると楽しくて何冊もやりたくなりました。

子ども司書講座、すごく楽しかったです。

